



Relay for you

—臓器移植はあなたの意思をつなぎます—

17号

新潟県臓器移植推進財団だより

令和2年12月発行 公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
ホームページ <http://www.niigata-ot.net>

新潟市中央区新光町4番地1(新潟県福祉保健部健康対策課内) TEL:025-283-4880

臓器移植フォーラム2020in長岡を開催しました！



より多くの人々に移植医療についての理解を深めてもらい、臓器提供に関する意思表示をしていただくため、国では毎年10月を臓器移植普及推進月間と位置付けております。

その一環として、10月25日(日)に長岡市の「CoCoLo長岡」にて「臓器移植フォーラム2020in長岡」と題し、FM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの？臓器移植シーズンR2」の公開録音等を実施しました。※当日は、密集の回避や消毒液の設置等、感染症対策を徹底の上、実施しました。

「ヤン&アッキーのど〜なの？臓器移植シーズンR2」

令和2回目となるFM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの臓器移植シーズンR」。

今回は、フォーラム開催地の長岡赤十字病院で救急医療等の現場で御尽力されている宮島衛・救命救急センター長/集中治療科部長をゲストとしてお迎えし、臓器移植に関して、「楽しく・分かりやすく」をモットーにトークを展開しました。

【主なトーク内容】

- ・移植医療の現状(臓器提供の流れ、国際比較)
- ・医療現場におけるコロナ対応
- ・該当アンケート結果



(左から)FM-NIIGATAパーソナリティのMika Walkerさん、ヤンさん、秋山政人コーディネーター、宮島衛医師



街頭アンケート



公開録音に先立ち、Mika Walkerさんと秋山コーディネーターが臓器移植に関する街頭アンケートを実施しました。

YouTubeにて配信中！

フォーラムの様子はYouTubeにて動画配信しております。トークの内容を詳しく知りたい方は、「YouTube 臓器移植フォーラム」と検索して御覧ください！

YouTube 臓器移植フォーラム

検索

※配信期間は令和2年12月31日までです。



★本フォーラムに関し、FM-NIIGATAの視聴者様から寄せられたメッセージを紹介します★

- ・臓器移植について、コンビニなどでカードをよく見ます。いずれはカードへ記載したいと考えています。
- ・意思表示の大事さを改めて感じました。
- ・日本の提供率の低さにも驚きました。もっと他の国のように提供率が上がればよいなと思いました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)特集

ウィズコロナ時代の救命救急センターの看取

長岡赤十字病院 救命救急センター副センター長
集中治療科部長 宮島 衛



11月は意外に暖かい日が続いていましたが、ようやく新潟の冬の到来です。脳卒中や心臓病などの重症疾患、交通事故・転落などの重症外傷が増えてきた上に、コロナ禍のせいかうつ病や自殺未遂も増えております。

新型コロナウイルスは私たち医療者の日常も院内環境も大きく変えてしまいました。発熱患者さんが緊急受診を希望されても、残念ながら受け入れる病院が見つからなくて、たらい回しになってしまふことがありました。新潟県は医師も看護師も足りない医療過疎の県で、病院側も院内感染が心配なので、救命センターがある病院に負担がかかってしまっています。さらに、そのような病院にお勤めの医療者のお子さんたちが周囲から感染を心配されて揶揄され、医療者の使命感が傷つけられた残念なニュースもありました。

コロナ禍の院内感染対策で、多くの病院にて入院患者さんへのご面会は大きく制限されています。感染拡大地域から来られたご家族の即日面会は、いかに健康な状態でも当院ではお断りしています。つまり、瀕死で緊急入院された患者さんのご家族は、ご面会が叶わぬまま最期を迎えてしまうことがあります。

大切なご家族（ドナー）を失おうとしているご家族と看取り方を語らうことは、平時でもとても難しいことです。さらに面会制限されている今、ご家族が臓器提供という看取り方を初めて理解することはさらに大変でしょう。しかしこれまで臓器提供を選択されたご家族は、その看取り方を決して後悔されていません。提供に至るまで頑張り続けたご家族（ドナー）を日々誇りに思いながら、レシピエントの皆様の健康を祈念されています。短時間の面談の中で私たちはそのことだけでもお伝えし、コロナ禍でも臓器提供の火を絶やさないよう日々努力しています。

新型コロナウイルス感染症に対する本県の臓器提供、移植

公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
コーディネーター 秋山 政人



新型コロナウイルス感染症の発生を受け、厚生労働省から臓器提供における新型コロナウイルスへの対応について通知があり、①臓器提供候補者に対するPCR検査の要否を検討する際は、現在のところ臓器移植したことで新型コロナウイルスに感染するかどうかは明らかになっていないことを十分留意しつつ適切に対応すること、②臓器提供候補者について、PCR検査を実施し、陽性だった場合、当該候補者の臓器あつせん行わないこと、③陰性だった場合においても、新型コロナウイルス感染症については未だ不明な点が多いことから、当該候補者の臓器を移植に用いるかどうかについて、移植施設において慎重に判断することが示されております。

このような中、県内では、腎臓・膵臓・角膜の移植を新潟大学で行っております。生体移植（生体は腎臓のみ）は7月1日より再開しております。死体臓器移植及び死体角膜移植については、大学病院内の条件（方針）がクリアーされれば実施することとなっています。

臓器提供については、各施設の判断で実施しておりますが、感染の防御を念頭に置いた対策が行われてきました。

具体的には、外部から臓器提供のために派遣された臓器移植コーディネーターや医師が感染の兆候が無いが、また来院時には日本臓器移植ネットワークが指定する問診票の記入や検温によって院内に入ることになっております。その他、施設によっては、新型コロナウイルス検査を実施し、陰性を確認しなければ院内での臓器提供活動ができない旨の対策を検討している施設もあります。

このように県内の臓器提供は、各医療機関において感染症対策も検討しつつ、安心・安全な臓器提供の環境整備を検討しております。その事でご本人・ご家族の最期の願いを叶えるためのお手伝いをさせていただいているのが本県の臓器提供環境です。

臓器提供及び移植の状況

(1) 献腎提供者・献腎移植者・献腎待機者の状況

令和2年3月31日現在(人)

年度		H27	H28	H29	H30	R1
献腎提供者	全国	82	97	120	99	92
	新潟	3	3	4	4	10
献腎移植者	全国	157	190	188	192	178
	新潟	3	4	5	5	8
献腎待機者	全国	12,825	12,828	12,449	12,150	12,541
	新潟	240	228	212	199	189

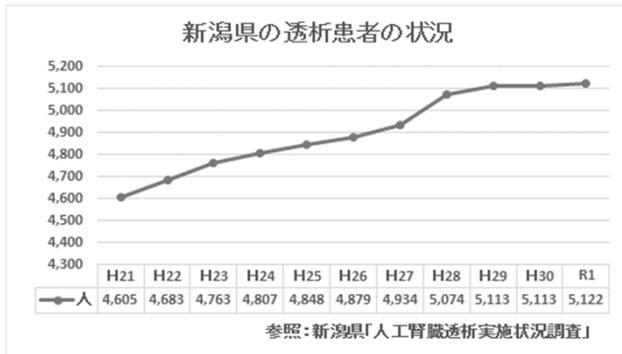
(2) 本県の献眼登録者・献眼者・待機者の状況

令和2年3月31日現在(人)

年度		H27	H28	H29	H30	R1	累計
献眼登録者		186	246	155	114	90	791
献眼者		10	8	10	4	12	44
献眼待機者		35	43	36	35	19	168

(3) 人工透析患者の現状

腎不全のため人工透析を行っている患者さんは年々増加傾向にあります。(下図)
腎不全の唯一の根本治療は腎移植であり、多くの患者さんがこれを待ち望んでいます。



臓器移植の意思を表示しましょう

健康保険証や運転免許証に意思表示記入欄があります。臓器提供の意思表示にご協力ください。



〈 1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。〉

- 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、臓器を提供しません。

〈 1 又は 2 を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。〉
【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

〔特記欄: 〕

署名年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人署名(自筆): _____

家族署名(自筆): _____



(意思表示カード裏面)

公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿

令和2年11月1日現在

■理事長

成田 一衛 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎・膠原病内科学(第二内科) 教授

■副理事長

福地 健郎 新潟大学大学院医歯学総合研究科 視覚病態学分野 教授

■常務理事

齋藤 和英 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授

■理事

木下 義昌 新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児外科学分野 教授

塚田 芳久 新潟県医師会 副会長

吉澤 豊久 新潟県眼科医会 会長

青池 郁夫 新潟県透析医会 会長

鈴木 榮一 魚沼基幹病院 病院長

山口 征吾 魚沼基幹病院 地域救命救急センター長

宮本 豊博 日本赤十字社新潟県支部 事務局長

佐藤 裕幸 新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長

大竹 勝巳 新潟県腎臓病患者友の会 会長

■監事

石崎 修 元新潟県三条地域振興局健康福祉環境部参事(医薬予防課長)

■評議員

牛木 辰男 新潟大学 学長

富田 善彦 新潟県病院協会 会長

松田 英伸 新潟大学医歯学総合病院 眼科 講師

高井 和江 新潟県医師会 理事

川嶋 禎之 長岡赤十字病院 院長

齋藤 有子 (公社)新潟県看護協会 会長

村越 勝蔵 新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 副理事長

田中 納次 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長

森澤 真理 新潟日報社 論説編集委員 室長

田中 利夫 日本文理高等学校 副校長

園田 裕久 新潟県長岡保健所長

小林 康昌 新潟県市長会 事務局次長

渋谷 聡 新潟県町村会 事務局長

石田 芳英 (株)石鑑工業 代表取締役(新潟移植者の会)

■顧問

岩田 和雄 新潟大学名誉教授 岩田眼科医院 名誉院長

大石 正夫 白根健生病院 眼科医部長

荒川 正昭 新潟県福祉保健部参事

高橋 公太 新潟大学医学部名誉教授 (医)ときわ会大塚台クリニック 院長

～財団の活動・運営に御協力ください～

当財団では、一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、県、市町村、患者団体等と連携し、臓器移植に関する知識の普及啓発等に取り組んでまいりました。

財団の活動は基本財産の運用益と皆様からの善意の賛助会費や寄付金で行っております。財団の安定的な活動・運営のため、引き続き、皆様の御協力をお願いいたします。

賛助会加入及び寄付の方法

★賛助会費(年会費)	郵便振替の場合	口座番号 00500-4-76919
法人1口 10,000円		公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
個人1口 1,000円	銀行振込の場合	北越銀行 新潟県庁支店
※当法人に賛助会費や寄付金を納められた方は税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。		普通口座 237932
		公益財団法人新潟県臓器移植推進財団



